

2007年秋号

■ これまでありがとう、そしてこれからも…

～ **NEW** ハッピーライフのススメ ～

■ 男と女の黄金バランスを見つけよう!

～ 男女共同参画…これからの10年 ～

■ 日本女性会議2008とやま情報

か

あ

ぜ

い

24

の

ふたりいて耳遠きゆえとき折は笑い話ができ上がります

わがいびき時に妻子はぐらとといふ猫のいびきに目敏きわれよ

これまでありがとう、 そしてこれからも…

NEW ハッピーライフのススメ

「定年」を迎えることは、人生において一つの大きな節目。
せっかくの「第2の人生」のスタートですから、自分自身、
そしてパートナーとも「自分らしく」ハッピーに生きていきたいですね。



あれもしたいし、これもいいな。

ちょっと聞いてみました

プロポーズの言葉にも時代の流れとともに変化がある
ようです。

- 30年程前は…
- 「俺がお前を幸せにするからさ」 (62才男性)
 - 「俺の傍でずっと微笑んでいてほしいんだ」 (60才男性)
 - 「君の人生を僕にください」 (55才男性)
 - 「君の作った味噌汁を毎日飲みたいな」 (59才男性)

- 現在では…
- 「僕と一緒に幸せになろう」 (30才男性)
 - 「これからの人生、二人で支えあえば大丈夫だよ」 (37才男性)
 - 「俺、洗濯と掃除は得意だから」 (33才男性)
 - 「絶対、幸せになるから、ねっ」 (30才女性)

いかがですか。これからのお二人のスタイルを考えてみては。

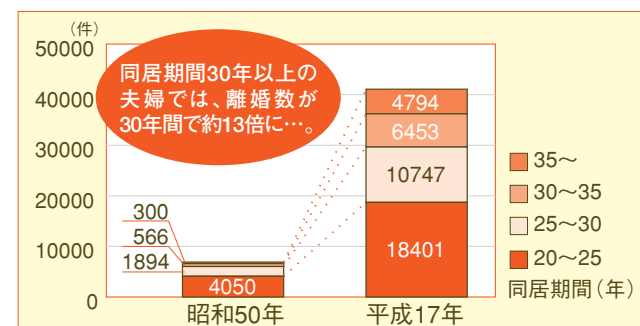
熟年層での離婚は増える傾向にある？

2002年に28万9836件を記録した我が国の離婚
件数ですが、現在は下降線をたどっています。

2007年4月開始の「離婚時の厚生年金の分割
制度」により増加に転じてしまうのではという予測もあり
ましたが、制度自体の認知の広がりとともに再び減少
傾向にあるようです。

結婚して20年以上経過した夫婦の離婚についても、
同様に減少傾向にあるのですが、昭和50年と平成17
年を比べると30年で約5.9倍増加しており、離婚に対
する抵抗感の薄れや夫婦間のコミュニケーション不足
等が問題視されています。

■結婚後20年以上の同居期間における離婚件数



資料:厚生労働省「人口動態統計」

男性の皆さん、介護への心構えは できていますか…

少子高齢社会が進む中、避けて通れないのが「介
護」です。政府の調査によれば、「妻を介護する夫」「親
を介護する息子」等、家族介護者の4人に1人が男
性といわれています。

市長職を辞して、妻を介護された前高槻市長の江
村利雄さんの言葉がこれからの介護への心構えを示
しています。

「早めに準備しておいたほうがよろしゅうおまっせ。」

(富山市男女共同参画推進センター 男女共同参画講座にて)



おすすめBookを紹介します

60歳のラブレター①~⑥

「長い人生をともに歩む夫から妻
への、妻から夫への素直な気持ち」
「感謝の思い」をキーワードに応
募された作品をまとめたベストセー
ー。葉書1枚の中に人生が凝縮
されています。若いご夫婦もぜひ。

日本放送出版協会



夫と妻 今より10倍いい関係ができる本



「気くばりのすすめ」で有名な元
NHKアナウンサーの鈴木健二さ
んだからこそ語れる「夫婦円満の
シンプル・ルール」。二人だからこ
そのちょうどいい関係を築いてみ
ましょう。

三笠書房

短歌で参画

口もとにつきたる妻の飯粒をさりげなく口に入るる夫あり

編集委員作

川柳で参画

別れ道あばよとさよならカルチャーセンター

編集委員作

二人の時間と 自分の時間の 素敵なバランス

一緒に…

Sさん夫婦の一日は朝の4時から始まる。車で10数分、海岸へと向かう。

夫、妻ともに定年を迎えてから10余年、特別に天候が悪い日を除いては護岸堤に沿っての散歩を欠かしたことはない。

肩を並べて歩きながら、時々立ち止まっては、樹木や風、草花や鳥、それらに季節の移ろいを感じながらの散歩。時には妻の方が夫から遅れることがある。

夫を追いかけながら妻は言う。

「ねえ、私を一人にして心配ではない?さらわれたらどうするの」

すかさず夫が言う。

「欲しいものには、のしを付けて差し上げるよ」

こんな冗談を言って笑う。

散歩を終える頃には、立山連峰から朝の太陽が顔を覗かせ、そんな二人にエールを送る。

離れて…

朝7時半。朝食を終えた夫はいそいそと出かけていく。休耕田を借りての野菜づくり。

無農薬で育てたナスやきゅうりは、不思議なほど、やわらかくておいしい。トマトは水が滴りそう。

大量の収穫物をご近所に配るのは妻の仕事。人様に喜んでいただくことで、二人の喜びも倍増する。

夫は野菜づくりに一生懸命で、妻はボランティアに忙しい。中でも、最も時間を割いているのが町内の長寿会の仕事で、長寿会便りも月に2、3回は発行する。やりたいことが自由にできるのは、夫の理解があってこそと、妻は心から感謝している。

理解し合って、寄り添って…

S家の玄関には「伝言板」がある。「今、ゴミを出しにっています」「ちょっとコンビニまで」といった細々したことが書かれている。お互いの所在が明らかだと安心できるという。

約束ごとの一つに、食事の時間がある。朝食夕食ともきっちり7時。食事をしながらの話題は尽きない。お互いのその日の予定やそれぞれに過ごした日中の出来事。愛犬の話。その日のニュースや読んだ本のこと。

ちなみに、昼食はお互いに全く自由。お互いに束縛し過ぎないようにしようという夫からの提案だ。

自分だけの時間、夫婦一緒の時間を大切に。自分の気持ち、相手の気持ちを尊重する。そんな二人の毎日には、微笑とともに温かい風が吹いている。

(市内在住のSさん夫婦取材して)



互いの人生、 ふたりの人生



今回の表紙を飾っていただきましたのは、長年にわたり、ご夫婦で短歌を詠み続けられ、この度三人のお子さん方によって『百八十歳の歌集』と題した歌集を出版された、富山市月見町にお住まいの清田ご夫妻です。

夫の秀博さんは、高校で国語を教える傍ら、万葉集研究と短歌の創作に勤しまれて、妻の幸さんは、女学校の時代から校友会誌に短歌を投稿するなど、文学に親しんでおられました。知人を介して結婚されて以来、それぞれに多くの短歌を創作されています。『百八十歳の歌集』とは、二人の年齢を合わせるとちょうど180歳になる



ことから題され、中にはお二人で共に歩まれた人生が綴られています。

表紙の短歌は、多くの作品の中から、夫婦の間のちょっとした瞬間をとらえたものを掲載させていただきました。お互いを尊重し合って、ふたりの時間も楽しんでいっしょに。こんなお二人の関係が、これからの夫婦の素敵な過ごし方ではないでしょうか。

これから「第2の人生」を歩まれる方、もしくはパートナーとの生活が始まったばかりの方々も、お互いの人生、そしてふたりの人生について考えてみてはいかがでしょうか。

連載 家庭の一場面から…

家庭によくある一場面を描いた1コマの漫画から
パートナーとの家事・育児などの分担について考えてみました。

第1回 「今、片付け中なのに…」

家族団らんでの楽しい夕食の後、夫が後片付けをしています。

妻は料理、夫は後片付けと二人で役割を決めて、家事をこなしているようです。

今は食器洗浄機等もありますが、後片付けにも「こだわり」があるのでしょうか、

夫は自分で洗っています。洗剤のあわ立ちの度合いを計りながら、何からどこまでを洗い、すすぎ、そしてどう重ねていくか。一連の動作にも夫なりの「美学」が…。

そこへ、「子どもの歯磨きお願いね!」と妻の声が。

もちろん個人差はあると思いますが、男性は物事に取り組む際に一つのことに没頭する傾向にあるようです。

妻の皆さん、家事・育児への夫の協力をスムーズに導くためにも、タイミングを図ること、そして、「きれいにしてくれて、ありがとう。矢継ぎ早で悪いけど、子どもの歯磨きを手伝ってあげて。」と感謝の気持ちを忘れずに。(もちろん、お互いにですよね。)

画・西藤久典さん





名取さん

～男女共同参画…これからの10年～

本市では、平成19年3月に「富山市男女共同参画プラン2007-2016」を策定しました。市民・事業者・教育関係者の皆さん、そして行政とが一緒に男女共同参画を推進していくための設計図の役割ともいえます。

でも、「参画」って聞いただけで難しそうで…と思われる方もいらっしゃるかと思います。今回は、インターンシップ研修生として、男女共同参画推進に関する仕事を初めて体験された、名取温未さん(大学生)と一緒に「富山市男女共同参画プラン2007-2016」について考えてみましょう!

富山市がめざす男女共同参画社会ってどんなの?

男女が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いながら、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

どうして、こんな社会が必要なの?

大きく3つの理由が考えられます。

人権の尊重

日本国憲法をはじめ、法律上では「男女平等」が保障されていますが、現実には、毎日の家事や育児・介護の負担、職場における昇進・昇格の遅れ等、女性にとって不利と思われる面が少なくありません。また、ドメスティック・バイオレンスやセクハラ等、主に女性の人権を侵害する行為も見られます。

社会経済情勢の変化への対応

人口減少時代といわれる現在、労働力不足や社会保障制度の維持への懸念、また、ニーズの多様化等、新たな課題が生じており、これらに対応するために、女性の様々な分野への進出やそれを後押しする男性の家庭参画が求められています。

地域社会の活性化

企画立案段階への女性の参画は進んでいないのが実状です。女性の視点から得られたアイデアを活動に活かし、女性がこれまで以上に参画することで、男女それぞれの立場や経験を活かして地域に貢献することが期待されています。

学校では男女の差を感じたことはあまりなかったけど、社会ではまだまだ男女平等とは言えないんだな。



男と女の黄金バランスを見つけよう!

じゃあ、どんなふうに進めるの?

3つの推進目標を基本に、社会情勢の変化の把握や計画の進捗評価を行いながら進めます。

3つの推進目標と主な施策

目標1 意識を変える、権利を守る

主な施策
啓発・情報提供活動「あいのかぜ」「広報とやま」「啓発冊子」、DV被害者への相談・支援体制の整備

目標2 能力を活かす、可能性を育てる

主な施策
審議会などへの女性の参画促進、女性の学習活動の支援、仕事と家庭の両立支援

目標3 家庭で支える、地域で取り組む

主な施策
家事・育児などへの共同参画のための講座の開催
富山市男女共同参画推進地域リーダーの活動支援

富山市男女共同参画推進地域リーダーとは、地域において男女共同参画推進のための啓発活動を担っている方々で、現在159名います。皆さんのまちで講演会等を企画運営していますので、ぜひご参加ください。

私たち、一人ひとりが取り組むことってどんなことかな?

- 家庭においては、お互いに尊重・協力しあい、多様な家族の形があることを認め合いながら、みんなで積極的に家事・子育て・介護などに参画し、喜びも責任も分かち合しましょう。
- 地域においては、男女平等・対等の観点で社会の慣習やしきたりを見直し、女性も男性も積極的に企画や方針決定に関わり、地域づくりに参画しましょう。
- 学校においては、発達段階に応じて、学校教育活動全体を通じて友だちや家族との人間関係のあり方を学び、相互に人格を尊重することの大切さを学びましょう。
- 職場においては、男女の均等な機会と待遇のもと、個性、能力、意欲等が十分に発揮でき、また、家庭生活や地域活動等とバランスのとれる労働時間を選択できるような環境がつけられるよう、お互いに心がけましょう。

「男女共同参画」というと、わかりそうでわかりにくい言葉ですが、現代において一人ひとりがしっかり理解すべき言葉だと思っています。少子高齢が進む社会において、男女がお互いのバランスをとりあって歩んでいかなければならない時代に入っている気がします。法律や制度等を充実することも必要ですが、個人が意識を変えることが最も重要だと思っています。私は男女共同参画とは強制されて実現するものではなく、みんながそんな社会を願って実現しようと努力することに意義があると思います。ぜひ皆さんにとっての「黄金バランス」を考えてみてください。(名取)



日本女性会議2008とやま情報 ④

いよいよ、開催まで1年となった男女共同参画推進に関する国内最大級の会議イベント「日本女性会議2008とやま」。ワクワクするような「大会テーマ」も決定し、着々とその準備が進んでいます。

日本女性会議2008とやま
大会テーマ

きらめ
煌く人とひと、連なる峰々へ

女性も男性も互いに理解し合い、それぞれが一人の「人間」として人生を輝かせ、煌きながら生きることの大切さを伝えます。
その生き方の連携が拓く、より豊かで美しい社会のありようを、煌く尾根が連なる立山連峰の雄姿にイメージを重ね合わせて表現していきます。



日本女性会議2008とやま オーバード・ホールを中心に市内各所で開催!

平成20年10月17日(金) 基調講演、シンポジウム、交流会

10月18日(土) 分科会、記念講演ほか

ホームページを開設しました 【アドレス】 <http://www.2008toyama.jp>

最新情報を
いますぐ、
チェック!

待ち遠しいから、
まずはこれで
盛り上がっちゃおう!

日本女性会議2008とやま開催プレ・イヤー記念

男女共同参画とやま市民フェスティバル

～煌く人とひと、連なる峰々へ～

入場無料

事前に入場整理券を
発行いたします。詳しく
はお問い合わせ先まで。

開催
日時

平成19年10月28日(日)
13:00～16:45(開場12:00)

開催
場所

富山国際会議場
メインホール

開催
内容

- ・オープニングパフォーマンス(13:00～) 和田朝子舞踊研究所
- ・開会
- ・シンボルマーク、レター「あなたに届けたい1通の手紙」フォト「スマイル～smile～」表彰
- ・お抹茶コーナー(無料)
- ・辺見じゅん氏によるミニトーク
- ・日本女性会議2008とやま開催アピール
- ・映画上映 「女はみんな生きている」(2001年/フランス)

作品は3階ホワイエに展示します

お抹茶コーナー(無料)

<3階ホワイエにて>

呈茶時間 1席目 12:00～13:00
2席目 16:40～
300名限定(なくなり次第終了)



■お問い合わせ先

日本女性会議2008とやま実行委員会事務局

〒930-0805 富山市湊入船町6-7 TEL 076-433-2008 FAX 076-433-1761

編集後記

家族の協力があって、楽しく編集に参加させて頂きました。“ありがとう、感謝します”
五十嵐恵美子

編集作業の大変さを実感しました。皆さん
に楽しく読んでいただけたら幸いです。
越前玲子

千の風になった夫への感謝・後悔を感じながらの編集でした。
“今からでも間に合いまっせ” 西藤光美

“あいのかぜ”は、男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人ひとりが男女共同参画に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流誌です。

タイトルの“あいのかぜ”は、「私(英語で)の風」、「あいの風(富山弁で北東からの涼しい風)」、「愛の風」を表しています。

【編集・発行】 富山市民生活部男女参画・ボランティア課
〒930-8510 富山市新桜町7-38
TEL (076) 443-2051 FAX (076) 443-2176

“あいのかぜ”へのご意見・感想をお待ちしております。
【宛先】 〒930-8510 富山市民生活部男女参画・ボランティア課(住所記載不要)
【アドレス】 danjyo-volun@city.toyama.lg.jp